## YUASA PRIMUS　電子レンジ　保証書

### 型番 PRE-6018PF

持込修理

| | | |
|---|---|---|
| 保証期間（本体） | | お買い上げ日より１年間 |
| ※お買上げ日 | | 平成　　年　　月　　日 |
| お客様 | ご住所<br>ご芳名 | 〒□□□-□□□□<br>様 |
| 販売店 | ご住所<br>店　名 | TEL（　　　）　　－　　　㊞ |

ご販売店様　※印欄は必ず記入してお渡しください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げ日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。

### ＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書や注意ラベルに従った正常な使用状況で故障した場合には、お買上げ販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内の無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買上げ販売店にご依頼できない場合には、ユアサプライムス株式会社にお問合せください。
4. 保証期間内であっても次の場合には有料修理になります。
   - (イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障 及び損傷。
   - (ロ)お買上げ後の移動にともなう落下などによる故障及び損傷。
   - (ハ)火災・地震・水害・落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   - (ニ)本書のご提示がない場合。
   - (ホ)本書のお買上げ日、お客様名、販売店名などの記入のない場合や字句を書き換えられた場合。
   - (ヘ)一般家庭用以外(業務用の使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
   - (ト)消耗品を交換する場合。
   - (チ)故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
5. 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書を発行している発売元（保証責任者）又は、事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げ販売店または、ユアサプライムス株式会社にお問合せください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については詳しくは取扱説明書をご覧ください。

**お願い**

一度ご使用になった製品は、返品をお受けすることができませんのであらかじめご了承ください。
但し、明らかに不備、不良と認められた製品につきましては、代替品と交換する準備がございます。また、保証期間の終了後や取り扱いの間違いによる故障（本体の水洗いなど）などの修理は、できる限りお客様の負担の少ないように（部品代、送料など）お見積りをご連絡し、了解を頂いた後に速やかに修理させていただきます。


**ユアサプライムス株式会社**

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町９番８号　電話 (03)5695-1503
http://www.yuasa-p.co.jp/


### お客様ご相談窓口について

●修理、お取り扱い、消耗品、部品ご購入などのご相談は、まずは、お買上げの販売店へお申し付けください。
●転居や贈答品などでお困りの場合は、弊社お客様ご相談窓口であります、下記サービスセンターへお問合せください。
●アフターサービスについては、取扱説明書の中でご説明しておりますのでご覧ください。

### お客様ご相談窓口

受付時間：午前 10 時～12 時・午後 1 時～5 時

フリーダイヤル 0120-988-475

・サービス向上のため、音声を録音させていただくことがあります。
・土日・祝日、年末年始、お盆休暇を含む当社の休日は休業とさせていただきます。

V-100

# YUASA PRIMUS

# 電子レンジ

型　番
## PRE-6018PF

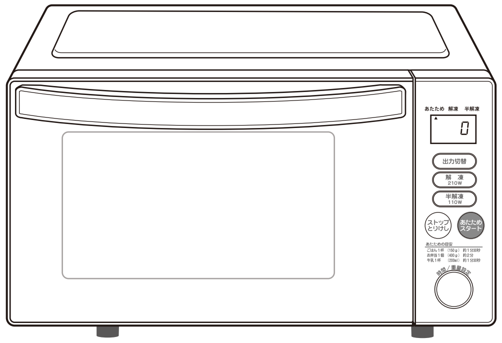
## 取扱説明書（保証書付）

**一般家庭用**
（業務用としては使用しないでください）

このたびは電子レンジをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」（1～2ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

### 経年劣化によるご注意

長年使用している電子レンジは、火災等の事故につながる恐れがあります。安心してご使用いただくため、長期間使用しましたら安全のため必ず点検することをおすすめします。
ご使用環境及びご使用時間等が異なるため、点検時期、点検方法及び点検費用については販売店または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。



### もくじ


安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・1−2
調理上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・ 3
設置について ・・・・・・・・・・・・・・ 4
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・ 5
容器について ・・・・・・・・・・・・・・ 6
使い方 ・・・・・・・・・・・・・・・7−10
調理時間の目安について ・・・・・・・・・11
お手入れについて ・・・・・・・・・・・・12
修理を依頼される前に ・・・・・・・・・・13
仕　様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・13
アフターサービスについて ・・・・・・・・14
保証書・お客様ご相談窓口について ・・ 裏表紙


● イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。
● この製品は、海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

# 安全上のご注意

ご使用の前に次の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、人体への危害や物的損害を未然に防止するためのものです。
※ 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。 |

## 絵表示について

この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
この記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

**※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。**

## ⚠ 危険

分解禁止

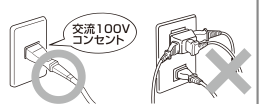
**修理技術者以外の人が、分解・改造・修理をしない。**
- 火災・感電・ケガの原因になります。
  修理はお買い上げの販売店、またはお客様修理ご相談窓口にご相談ください。

禁止

**やけどの恐れあり。**
**次のような方がお使いのときは、周囲の人が特に注意してください。**
- 乳幼児・皮膚感覚の弱い方・お年寄り・ご病人。
- 自分で操作できない方・深酒をされた方。
- 疲労の激しい方・眠気を誘う薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方。

## ⚠ 警告

**交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する。**
- 他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。




禁止

**延長コードを使用しない。**
- 火災ややけどの原因になります。

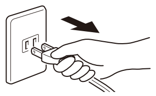
**電源プラグは根元まで確実に差し込む。**
- 差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。

禁止

**電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**
- 痛んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
  すぐにお買い上げの販売店、またはお客様修理ご相談窓口にご相談ください。
  修理技術者以外の方が、修理をしないでください。

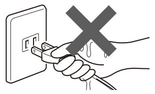
プラグを抜く

**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
- 感電やケガをするおそれがあります。

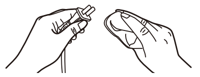


禁止

**電源プラグは、濡れた手で抜き差ししない。**
- 感電、ケガの原因になります。



**定期的に電源プラグの清掃をする。**
- 火災の原因になります。



禁止

**電源コードは束ねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない。**
- 電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。
- 火災、感電の原因になります。



## ⚠ 警告

**お子さまのいたずらにご注意。**
- 倒したり、上に乗ったりして、ケガ、感電、やけど、故障の恐れがあります。

禁止

**小さなお子さまだけで使わせない。**
- 感電・ケガ・やけどの原因になります。必ず、大人の方の監督のもと使用してください。

禁止

**本体の上に水や、その他の液体の入ったものを置かない。**
- 水分がこぼれて感電や、故障の原因になります。

禁止

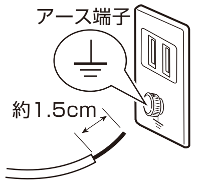
**ドアが破損したり、ドアのロックに異常がある場合は使用しない。**
- 電波が漏れて、人体に障害を与える恐れがあります。

**煙が出たり、異常な臭いがしたり、異音が出る場合はすぐに電源プラグを抜いて、修理をご依頼ください。**

アースをする

**アースを確実に取り付ける。**
- アースが確実にされていないと、万一故障や漏電をしたときに感電する恐れがあります。

［アースの取り付けかた］
アース線の先端の皮膜を約1.5cmむき、アース付コンセントのアース端子にしっかりと接続します。
※ コンセントにアース端子がない場合はお買い求めの販売店にアース工事を依頼してください。




- 湿気の多いところ（地下室など）や洗い場の近くなど水のかかりやすいところに設置する場合は必ずアース線に加え「漏電しゃ断器」を付けてください。

禁止

- 次のところへはアース線を接続しないでください。
  ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線

## ⚠ 注意

プラグを抜く

**長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く。**
- ケガや絶縁劣化による感電・ショート・火災の原因になります。

**電源プラグを抜くときはコードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。**
- 感電やショートして発火することがあります。

禁止

**直射日光の当たる場所など高温になる場所に置かない。**
- 熱による変形や変色、故障の原因になります。

禁止

**屋外や車の中で使用しない。**
- 本機は屋内専用です。熱による変形や変色、感電や故障の原因になります。

禁止

**工場や厨房など多量の粉じんや、油分の発生するところに設置しない。**
- 火災や故障の原因になります。

**本体を移動するときは必ず電源プラグを抜き、アース線を外して移動する。**
- ケガや故障の原因となります。

禁止

**テレビ、ラジオ、パソコンなど電子機器の近くで使わない。**
- 雑音や、通信底度の低下などが発生する恐れがあります。

禁止

**壁や家具の近くで使用しない。**
- 熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

禁止

**調理以外の目的で使用しない。**
- 過熱や異常動作をして発火や火災の原因になります。

禁止

**不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。**
- 火災の原因になります。

禁止

**食品は加熱しすぎない。**
- 発煙や発火、突沸などの原因になります。

※万一発煙、発火をした場合はすぐに電源プラグを抜き、ドアを開けずに鎮火するのを待ってください。
燃えやすいものを本体から遠ざけてください。
鎮火しない場合は水か消化器で消化してください。
処理後はそのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください。

**使用後はお手入れをする。**
- 雑菌が繁殖したり、発火、故障の原因になります。

**お手入れは本体が冷えてから行う。**
- 高温部にふれると、やけどの原因になります。

# 調理上のご注意

| | |
|---|---|
| 禁止 | ドアに無理な力や衝撃を加えないでください。<br>本体が倒れたり、変形して電波漏れの原因になります。 |
| | 缶詰、ビン詰、レトルト袋などの食品は別の容器に移してから加熱してください。<br>また、鮮度保持剤（脱酸素剤）をいれたまま加熱しないでください。<br>発火や破裂して、やけどやケガの原因になります。 |
| 禁止 | 卵はそのまま加熱しないでよく割りほぐしてから加熱してください。またゆで卵のあたためもしないでください。<br>破裂してやけどやケガの原因になります。 |
| | 殻や膜などのある食品（イカや栗、銀杏など）は切れ目や割れ目を入れてから加熱してください。<br>そのまま加熱すると破裂してやけどやケガの原因になります。 |
| | 乳児のミルクなどのあたためは仕上がり温度を確認してください。<br>中身をかき混ぜて温度を均一にしてから仕上がり温度を確認してください。<br>やけどをする恐れがあります。 |
| 禁止 | 食品は加熱しすぎないでください。<br>発火、発煙、突沸の原因になります。<br>・ 根菜類は必要以上に加熱すると焦げたり発煙、発火の原因になります。<br>・ 少量の食品（ポップコーン、ミックスベジタブルなど）、乾物、油がついた物は発火することがありますので様子を見ながら加熱してください。<br>・ 飲み物（牛乳、お酒、コーヒー）や生クリーム、油分の多い液体などは加熱しすぎると、ふきこぼれたり、取り出す時に突然沸騰して飛び散り（突沸）、やけどの原因となります。<br>・ 飲み物は加熱前にスプーンなどでかきまぜてください。<br>・ 加熱しすぎた時は、そのまま20～30秒ほど庫内で冷ましてから取り出してください。 |
| | やけどにご注意ください。<br>加熱中や、加熱後しばらくは内部が高温になっていますのでご注意ください。<br>調理品を取り出すときはミトンなどをご使用ください。<br>食品のラップを外すときは熱い蒸気などにご注意ください。 |
| | 加熱前に容器の材質などを確認してください。<br>金属容器、アルミホイル、非耐熱のガラスなどを使用すると火花が出て発火、発煙したり、ガラスが破損することがあります。 |
| | 密閉容器の栓やふたは外して調理してください。<br>容器が破裂して、やけどやケガの原因になります。 |
| | 加熱中は庫内を時々確認してください。 |
| 禁止 | 庫内が汚れたまま加熱しないでください。<br>発火、発煙の恐れがあります。 |

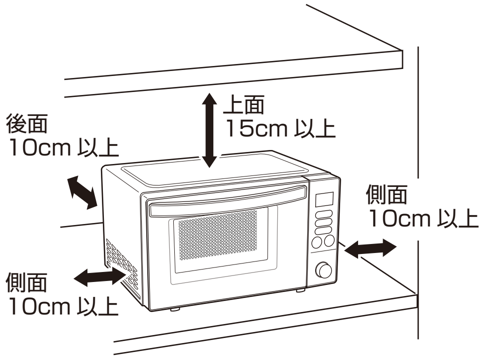


# 設置について

## 置き場所のご注意

**ご使用になる場所の安全をご確認ください。**

- 本体上方は15cm以上、左右側面と背面は10cm以上すき間を空けてください。
  また、前面は何もない状態にしてください。
- 水平で丈夫な床の上に置いてください。
- 燃えやすい物の近くに置かないでください。
- カーテンの開閉や揺らぎにご注意ください。
- 本体の上に腰掛けたり、ものを載せないでください。
- 上方からの落下物の恐れのないところでご使用ください。

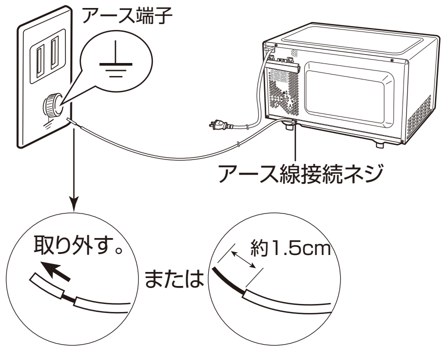



## アース線を取り付ける

アースをする

**アース線を確実に取り付けてください。**
故障や漏電のときに、感電の原因になります。

取り付けは販売店、または最寄りの電気工事店にご相談ください。




【アースの取り付け方】

**● コンセントにアース端子がある場合**

① アース線先端の被覆を外します。
　またはアース線の先端の皮膜を約1.5cmむきます。
② アース付コンセントのアース端子にしっかりと接続します。

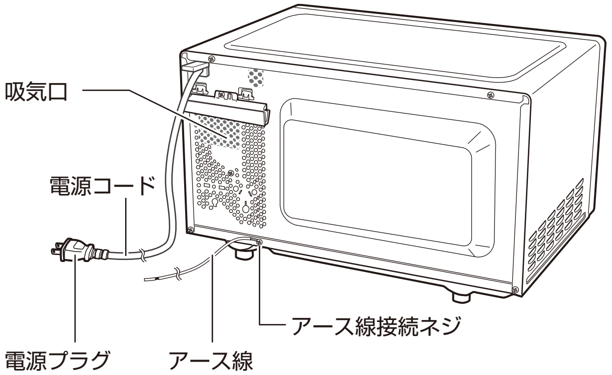
**● コンセントにアース端子がない場合**

お買い求めの販売店にアース工事を依頼してください。

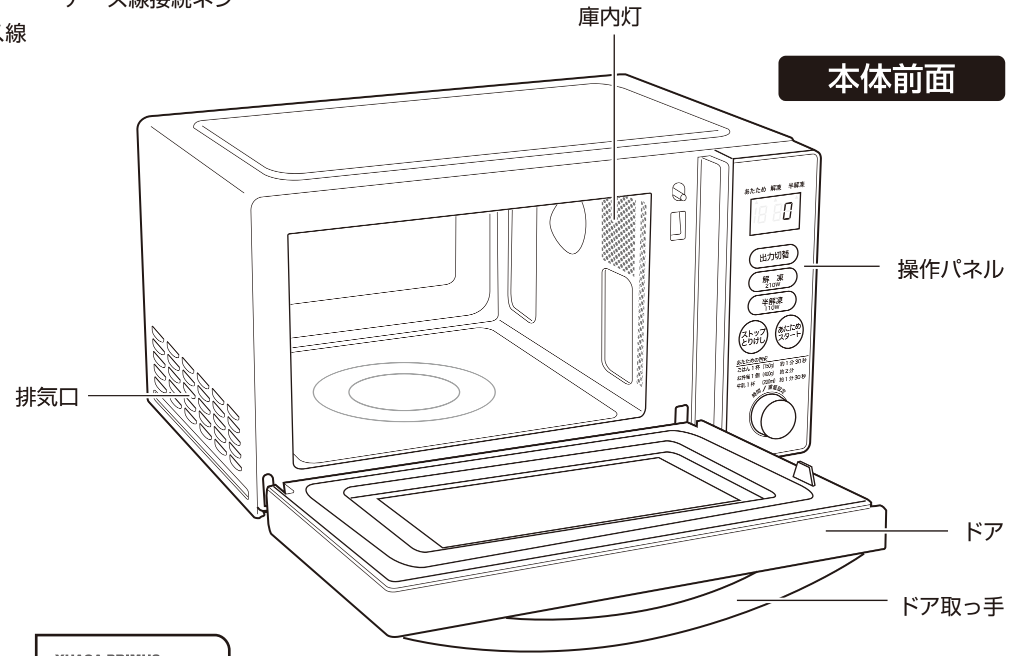
| 注 意 | ● ガス管や水道管、電話や避雷針のアースには絶対に接続しないでください。 |
|---|---|

湿気の多い場所、水気のある場所に設置する場合は必ずお買い上げの販売店または電気工事店に依頼して「漏電しゃ断器」を取り付け、アース工事（D種接地工事）をしてください。
[湿気の多い場所] 土間、コンクリートの床などの湿気の多いところ。
[水気のある場所] 水を扱う所、水滴の飛び散る所,地下室など結露しやすいところ。

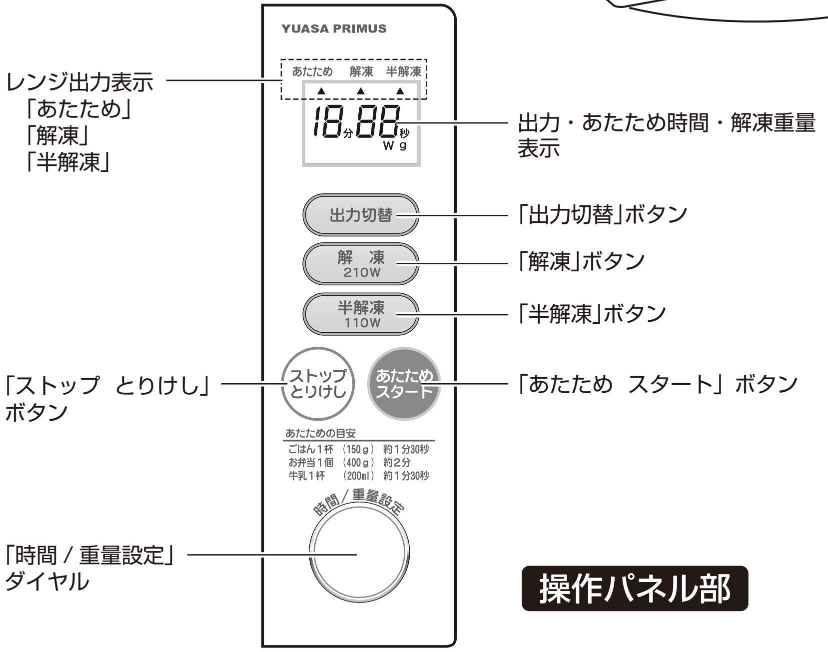
# 各部のなまえ




本体背面




本体前面



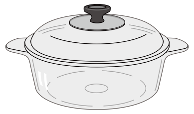
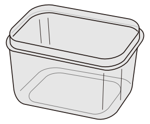
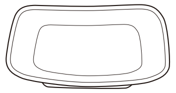
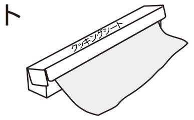

操作パネル部



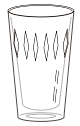
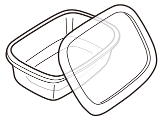
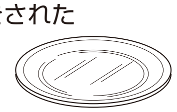
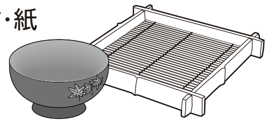
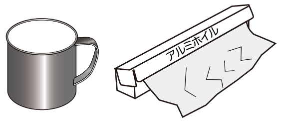
# 容器について

本機で使用できる容器と使用できない容器があります。ご使用の前に下の表をご確認の上、正しくお使いください。

## ○【使える容器】

| 使える | 容器の種類 | 説　明 |
|---|---|---|
| ○ | 耐熱ガラス  | 容器本体または取扱説明書に記載されている表示をご確認ください。<br>● 急加熱、急冷すると割れることがあります。<br>● 強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示のないものは使えません。 |
| ○ | 耐熱プラスチック  | 耐熱性 140℃以上のもの、電子レンジ使用可能の表示のあるもの。<br>● 油分の多い食材などは使えません。<br>● ふたは耐熱性のないものもありますので表示にご注意ください。<br>通常は本体の底面に表示があります。 |
| ○ | 陶器・磁器  | ● 急加熱、急冷すると割れることがあります。<br>● 金や銀など、金属を使った模様のあるものは火花が飛び容器を傷めることがありますので使えません。 |
| ○ | クッキングシート  | ● 庫内壁面に接触させると焦げることがあります。 |

## ×【使えない容器】

| 使えない | 容器の種類 | |
|---|---|---|
| × | 一般ガラス<br>強化ガラス<br>（耐熱でない）  | ● 耐熱表示のないガラスは使えません。<br>● 強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示のないものは使えません。 |
| × | プラスチック<br>（耐熱でない）  | ● 容器の耐熱表示をご確認ください。 |
| × | 金属の絵付けをされた<br>陶器・磁器  | ● 金や銀など、金属を使った模様のあるものは火花が飛び容器を傷めることがありますので使えません。 |
| × | 漆器・竹・紙<br>木製品  | ● 塗りがはげたり、燃えたりすることがあります。 |
| × | 金属  | ● 基本的にはアルミホイル、ホーロー、金属カップなどは使えません。<br>アルミホイルはお酒のかんなど、部分的に使える場合があります。<br>● 缶詰や、レトルト容器（材料にアルミ箔などを使用した容器）※1 は別の容器などに移して加熱してください。 |

※1　レトルト容器などの食品によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。

# 使い方

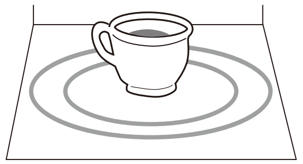
## ワンタッチあたため加熱

簡単な操作で食材を温めるときの手順です。

始めに電源プラグをコンセントに差し込みます。（アース端子が接続されていることをお確かめください。）

### 1 ドアを開け食材をセットする

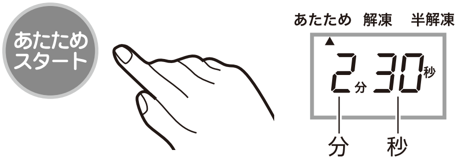
庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。



**注意**　ドアに物が挟まったりしないよう きちんと閉めてください。

### 2 「あたため　スタート」ボタンを繰り返し押し、調理時間をセットする

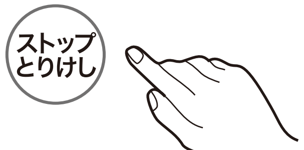
ボタンを 1 回押すと 30 秒のタイマーがはたらきます。
ボタンを押す毎に 30 秒追加され最大 5 分までタイマー時間が増加します。




30 秒→1 分→1 分 30 秒→・・・→5 分

※ ボタンを押すとすぐにカウントが始まりますので実際の表示は上記と異なります。
例えば 2 回押すと表示は 1 分ではなく 59 秒、58 秒などになっています。

※ 途中で調理を停止するときは「ストップ　とりけし」ボタンを押します。
※ 途中でドアを開けると加熱を停止します。
ドアを開けたまま1分以上たつと残り時間表示が「0」になり、
3分以上たつと表示部が消灯します。
※ 表示が「0」になる前にドアを閉め、「あたため　スタート」ボタンを押すと
残り時間の調理を続けます。




### 3 調理が終わったら食材を取り出す

調理が終了すると「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ電子音が鳴ります。
※調理が終わったあとドアを開けないと、1 分毎にお知らせ電子音がなり 3 分後に表示部が消灯します。

**注意**
- やけどをしないよう、ミトンなどを使用して取り出してください。
- 調理が終わったら毎回お手入れをしてください。食材のカスなどが残ったまま調理を続けると発火する原因になります。



## あたため条件を設定して加熱する

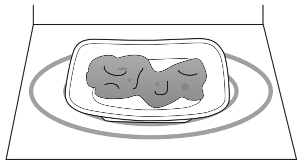
加熱出力と温め時間を任意に設定して食材を温めるときの手順です。
食材に合わせて細かく設定できます。

始めに電源プラグをコンセントに差し込みます。（アース端子が接続されていることをお確かめください。）

### 1 ドアを開け食材をセットする

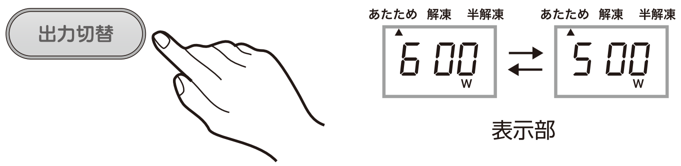
庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。

**注意**　ドアに物が挟まったりしないようきちんと閉めてください。



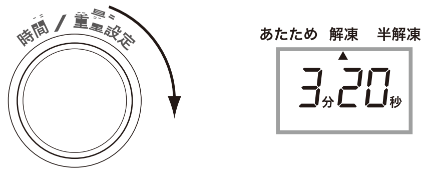
### 2 「出力切替」ボタンを繰り返し押し、出力を選ぶ

ボタンを押すごとに
600Wと500Wが切り替わります。




### 3 「時間/重量設定」ダイヤルをまわしてお好みの時間にセットする

ダイヤルを時計方向に回すと時間が増加し、
反時計方向に回すと時間が減少します。
最大30分までセットできます。
時間の変化のしかたは10ページを参照してください。




### 4 「あたため　スタート」ボタン押す

調理が始まります。

※ 途中で調理を停止するときは「ストップ　とりけし」ボタンを押します。
※ 途中でドアを開けると加熱を停止します。
ドアを開けたまま1分以上たつと残り時間表示が「0」になり、
3分以上たつと表示部が消灯します。
※ 表示が「0」になる前にドアを閉め、「あたため　スタート」ボタンを押すと
残り時間の調理を続けます。

### 5 調理が終わったら食材を取り出す

調理が終了すると「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ電子音が鳴ります。
※調理が終わったあとドアを開けないと、1 分毎にお知らせ電子音がなり 3 分後に表示部が消灯します。

**注意**
- やけどをしないよう、ミトンなどを使用して取り出してください。
- 調理が終わったら毎回お手入れをしてください。食材のカスなどが残ったまま調理を続けると発火する原因になります。

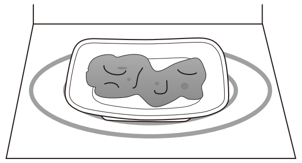
## 解凍・半解凍をする

冷凍食品を解凍や半解凍をするときの手順です。刺身の解凍など加熱しすぎると風味が損なわれる場合などは半解凍機能を使って様子を見ながら解凍します。

始めに電源プラグをコンセントに差し込みます。（アース端子が接続されていることをお確かめください。）

### 1 ドアを開け食材をセットする

庫内底面にある丸い印を目安に中心付近に置いてください。



⚠注意 ドアに物が挟まったりしないようきちんと閉めてください。

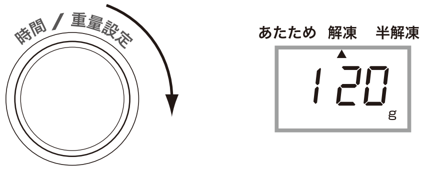
### 2 「解凍」ボタンまたは「半解凍」ボタンを押す

「解凍」は210W、
「半解凍」は110Wの表示になります。

【解凍ボタンを押したとき】

### 3 「時間/重量設定」ダイヤルをまわして食材の重量をセットする

ダイヤルを時計方向に回すと重量表示が増加し、
反時計方向に回すと重量表示が減少します。
時間の変化のしかたは10ページを参照してください。




### 4 「あたため　スタート」ボタン押す

解凍が始まります。

※ 途中で調理を停止するときは「ストップ　とりけし」ボタンを押します。
※ 途中でドアを開けると加熱を停止します。
　ドアを開けたまま1分以上たつと残り時間表示が「0」になり、
　3分以上たつと表示部が消灯します。
※ 表示が「0」になる前にドアを閉め、「あたため　スタート」ボタンを押すと
　残り時間の調理を続けます。

### 5 解凍が終わったら食材を取り出す

調理が終了すると「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ電子音が鳴ります。
※調理が終わったあとドアを開けないと、1 分毎にお知らせ電子音がなり 3 分後に表示部が消灯します。

⚠ 注意
- やけどをしないよう、ミトンなどを使用して取り出してください。
- 調理が終わったら毎回お手入れをしてください。食材のカスなどが残ったまま調理を続けると発火する原因になります。



### 解凍のヒント

- 食品は同じ種類を同じ大きさにそろえて冷凍してください。
  1回分200～300gずつに分け、厚さ2～3cmに均一にします。
- 冷凍庫から出してすぐに解凍します。
  解凍前に常温で放置すると食品から汁がでて風味を損なう恐れがあります。
- エビなどを冷凍するときは重ならないようにして冷凍します。
- ラップに包んで冷凍したものは、耐熱陶器のお皿などに平らにのせて解凍します。

## 色々な機能について

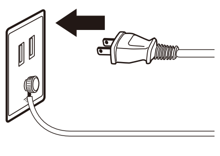
### 【チャイルドロック機能】

お子さまが誤って操作をしないように、機能をロックする「チャイルドロック機能」が搭載されています。
チャイルドロック機能を有効にするときは「ストップ　とりけし」ボタンを押しながら、
3秒以内に「あたため　スタート」ボタンをいっしょに2秒以上押し続けてください。
※ チャイルドロック表示がされているときはどのボタンやダイヤルを操作しても受け付けません。

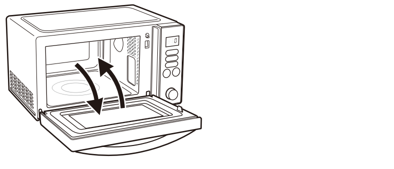
チャイルドロック機能を解除するときは、
もう一度「ストップ　とりけし」ボタンを押しながら、
3秒以内に「あたため　スタート」ボタンをいっしょに
2秒以上押し続けてください。

### 【電源を入れ直すときは】

電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入り表示部に 0 と表示されます。

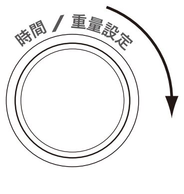


※ 電源プラグをコンセントに差し込んだあと、
　または調理が終わったあと何も操作をしないで一定時間経つと
　電源がオフになります。(省エネ設計)
　再度電源を入れるにはドアを一度開閉すると電源が入ります。



### 【時間・重量設定ダイヤルを回したときの変化量について】

「あたため」または「解凍」、「半解凍」のモードで「時間・重量設定」ダイヤルを回すと次のように変化します。
(時計回りのとき)




あたためモード

| 範囲 | 間隔 |
| --- | --- |
| 5 秒 → 1 分 | 5 秒間隔 |
| 1 分 → 5 分 | 10秒間隔 |
| 5 分 → 10 分 | 30秒間隔 |
| 10 分 → 30 分 | 1分間隔 |

解凍
半解凍モード

| 範囲 | 間隔 |
| --- | --- |
| 100g → 500g | 10g間隔 |

# 調理時間の目安について

温め時間を設定するときの目安を表示してあります。
温め前の食品の温度や種類によって適正な時間が変わります。様子を見ながら加熱してください。
※ 食品に加熱時間などの表示がある場合は、そちらも参考にしてください。

## 【あたため】

| | 食品の種類 | 分量 | 加熱時間 | ラップ・ふた | ポイント |
|---|---|---|---|---|---|
| 常温・冷蔵食品 | ごはん | 1杯(150g) | 約1分30秒 | − | ごはんがかたいときは、霧吹きなどで水を振りかける。 |
| | 煮物 | 200g | 約2分 | する | 加熱後は混ぜる。 |
| | 味噌汁・スープ | 1杯(200ml) | 約2分 | する | 加熱後はかき混ぜる。 |
| | カレー・シチュー | 200g | 約2分 | する | 深めの容器で加熱する。加熱後はかき混ぜる。 |
| | 焼きそば | 1人分(200g) | 約2分 | − | 乾いているときは、サラダ油を少し混ぜる。<br>加熱後はかき混ぜる。 |
| | ハンバーグ | 2個(180g) | 約1分30秒 | − | 表面が乾いているときはさきにサラダ油を塗る。 |
| | 天ぷら・フライ | 1人分(200g) | 約2分 | − | キッチンペーパーを敷き、重ならないようにならべる。<br>※イカははじけることがあるので控えめに加熱。 |
| | 焼きとり | 6本(180g) | 約1分30秒 | − | 先にタレを塗る。(照りを出す) |
| | チャーハン・ピラフ | 1人分(250g) | 約2分 | − | かたいときは、霧吹きなどで水またはサラダ油などを少量振りかける。 |
| | 牛乳 | 1杯(200ml) | 約1分30秒 | − | 加熱後はかき混ぜる。 |
| | コーヒー | 1杯(180ml) | 約1分30秒 | − | 加熱後はかき混ぜる。 |
| | お酒 | 1杯(180ml) | 約1分 | − | 加熱後はかき混ぜる。 |
| | 肉まん・あんまん | 1個(65g) | 約1分 | する | 水に濡らしたキッチンペーパーをのせ、1つずつゆったりとラップをかける。<br>※あんまんはあんが熱くなり、舌をやけどしたり、発煙の恐れがあるため、加熱時間を控えめにする。 |
| | お弁当 | 1個(400g) | 約2分 | − | しょう油の容器、アルミ小容器、丸ごとのゆで卵などは取り出してから加熱する。 |
| 冷凍食品 | ごはん | 1杯(150g) | 約3分30秒 | する | ラップにくるんだまま耐熱容器に入れて加熱する。 |
| | カレー・シチュー | 200g | 約4分 | する | 深めの容器で加熱する。加熱後はかき混ぜる。 |
| | ハンバーグ | 2個(180g) | 約2分30秒 | する | 加熱後ラップをしたまま2〜3分蒸らす。 |
| | おまんじゅう | 1個(65g) | 約1分 | する | あんが熱くなり、舌をやけどしたり、発煙の恐れがあるため、加熱時間を控えめにする。 |
| | シュウマイ | 10個(160g) | 約4分 | する | 水に濡らしたキッチンペーパーをのせ、ゆったりとラップをかける。またはさっと水にくぐらせる。 |
| ゆで野菜 | だいこん | 400g | 約8分 | する | 大きさをそろえる。 |
| | じゃがいも | 200g | 約5分 | する | 大きさをそろえる。 |
| | にんじん | 150g | 約4分30秒 | する | 野菜が浸るぐらいの水を入れふたをする。 |
| | 白菜・キャベツ | 200g | 約2分30秒 | する | 太い芯はあらかじめ除いておく。 |
| | ほうれん草 | 200g | 約2分30秒 | する | 加熱後すぐに水にさらす。(あく抜きや色止めのため) |
| | かぼちゃ | 400g | 約4分 | する | 大きさをそろえる。 |
| | カリフラワー・ブロッコリー | 200g | 約2分30秒 | する | あらかじめ食塩水につけあく抜きをする。<br>小房に分ける。 |

**注意**
- 冷凍野菜(ミックスベジタブルなど)は、少量の加熱はしないでください。発火・発煙の恐れがあります。
- 加熱しすぎると、取り出すときに突然沸騰して飛び散ったり、やけどをすることがあります。そのまま20〜30秒ほど冷ましてから取り出してください。

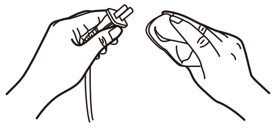
**【解凍・半解凍】** 食材の重量をダイヤルで設定して解凍します。大きさ、厚さをそろえて冷凍しておくとむらなく解凍できます。



# お手入れについて

**警告**
- お手入れの時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、冷めてから行ってください。
  感電ややけど、ケガをする原因になります。
- 本体を水につけたりしないでください。

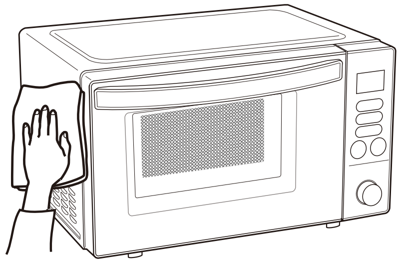
### 【電源プラグ】
柔らかい布などで乾拭きしてください。液体は使わないでください。



### 【本体外側】
本体外側はやわらかい布などで乾拭きしてください。
汚れのひどい場合は薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと
よく拭きとってください。

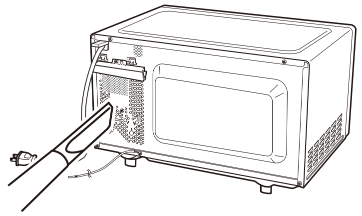
### 【庫内】
固く絞った濡れふきんで拭いてください。
汚れが落ちにくいときは:

① ふきんをを濡らし、軽く絞って庫内に置く。
② 「あたため」で1分〜2分加熱する。
③ 5分程そのまま放置する。
④ ふたを開け、熱さを確かめながらやけどに注意して中のふきんで
庫内を拭き取ります。



**やけどに注意**

### 【吸気口・排気口】
やわらかい布などで乾拭きしてください。
ほこりが吸気口などに入り込んでいる場合は、掃除機のノズルなどを
使ってほこりを吸い取ります。



**注意**
ガソリン、シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉など
で拭かないでください。
また、殺虫剤などをかけないでください。
樹脂や塗装部分が、変色、変質する原因になります。

# 修理を依頼される前に

異常が生じたときは、次の点をお調べになってからお買い上げの販売店にご相談ください。

| こんなとき | おたしかめください |
|---|---|
| 電源を入れても動作しない。<br>（表示部が点灯しない） | ● 電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか?<br>● 停電していませんか?<br>● ドアを閉めて3分以上経過していませんか?<br>→ドアを開閉してください。 |
| 電源を入れても動作しない。<br>（表示部は点灯する） | ● ドアはきちんと閉まっていますか? |
| ボタンを押しても動作しない。 | ● チャイルドロック機能がはたらいていませんか?（10ページを参照） |
| 食品が温まらない。 | ● 食品をアルミホイルなどで覆っていませんか? |
| 調理中カチカチと音がする。 | ● 本機が出力を調節している音で故障ではありません。 |
| 調理中火花が出る。 | ● アルミホイルや、金属飾りのある容器や金属容器を使っていませんか? |
| 変な臭いや煙が出る。 | ● 庫内や、ドア内面に食品カスがついていませんか? |
| ドアに水滴がつく。 | ● 食品から水分や、水蒸気が出ることがあり、故障ではありません。 |

上記の処置をしても直らなかった場合は、お買い上げの販売店へ点検・修理をお申し付けください。
●お客様ご自身での修理・改造は危険を伴いますので絶対にしないでください。
※修理には特殊な技術が必要です。

# 仕　様

| | |
|---|---|
| 型名 | PRE-6018PF |
| 定格容量 | 18L |
| 定格電圧 | 100V |
| 定格周波数 | 50/60Hz |
| 定格消費電力 | 50Hz：1050W<br>60Hz：1350W |
| 定格高周波出力 | 500W、600W |
| 発振周波数 | 2450MHz |
| 加熱有効寸法 | 約：幅315×奥行318×高さ180（mm） |
| 外形寸法 | 約：幅458×奥行354×高さ286（mm） |
| 質量（重量） | 約：13.1kg |
| 電源コード長 | 約：1.5m |
| 区分名 | A |
| 電子レンジ機能の年間消費電力量 | 59.8kWh/年 |
| 年間待機消費電力量 | 0kWh/年 |
| 年間消費電力量 | 59.8kWh/年 |

● 製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
● この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。　FOR USE IN JAPAN ONLY.



# アフターサービスについて

## 修理を依頼されるとき

13ページの表に従ってご確認してください。それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。
なお、食品の補償等製品修理以外の責任はご容赦ください。

## 保証期間中は

保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
※本製品の修理は、持ち込み修理または、宅配便での修理依頼にて対応致します。
（宅配便使用の場合は、弊社にて送料を負担致します。運賃着払い対応可能です。）
保証期間：お買い上げの日から本体/1年間　発振管（マグネトロン）/2年間

## 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、電子レンジの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
（注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

## 保証料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品および補助材料代です。 |
| 配送料 | 修理品を回収、およびお届けする費用です。 |

## ●「ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて」

ユアサプライムス株式会社は、お客様の個人情報や相談内容を、ご相談への対応や修理、その他確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示、提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

愛情点検

**★長年ご使用の『電子レンジ』の点検を！**

このような症状はありませんか？

● 電源コード、プラグが異常に熱い
● 電源コードに深いキズや変形がある
● 異常な音や焦げくさい臭いがする
● 自動的に切れないことがある
● スパーク（火花）や煙が出ることがある
● その他異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。